

プロジェクト報告書

団体名 NPO 法人子どもの村 Kyoto YOU の家

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

シルバー里親設立事業とコーディネーターによる育成運営事業 第一段

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

自立援助ホームを設立したばかりで、自立させよう、社会で立つ人材育成を願いました。しかし、現実、施設から卒業してきた子ども達の社会へ飛び立つまでの現状は人材育成もままならず、起訴の基礎をという人材育成が必要と感じるような状態でした。
机上の理論だけでは難しく、まず子ども達も育ち、私達も育つような環境作りが大切と、地域の熱心なシルバーの方に協力を得て進めたいと取り組みました。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※計画は変更な、進めました。お寺という立地条件、地域に保護司さんというボランティアがおられること、私たちのNPOには専門家がたくさんいることを生かし、①研修会の開催、②子どもと差し親とのコミュニケーションづくり
③遊びの中で関係を楽しむ④いろいろの相談会開催

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

まず里親になってもらう方のために、私たち所員が、まずそのシルバーボランティアさんと仲良くなるのが大事と、ホーム長 自ら保護女性会の会員として一緒に活動始めたこと。
週一単位で日常もボランティアとしてYOUの家に入り、話す機会を多く持つようにしました。
別の大きな遊びのイベントにも参加いただき関係を繋げていこうにいたしました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

自立園児ゆホームは施設を卒業して2年間ほどという短い期間で自立できるようにというのは、期間が短く、各個人が心に抱える問題が大きく、簡単には解決しがたいという事味がありました。
施設での生活はなんでもしてもらえという境遇のため、自立とは異なり、何もしてくれないようなとらえ方されて、難しい事多いでした。
ただ、一人思い切って実行したことでこの4月には自立できたことがよかったです。それには私たちの勇気と、金銭的にゆとりが必要と思いました。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし